低温試験 / 高温試験

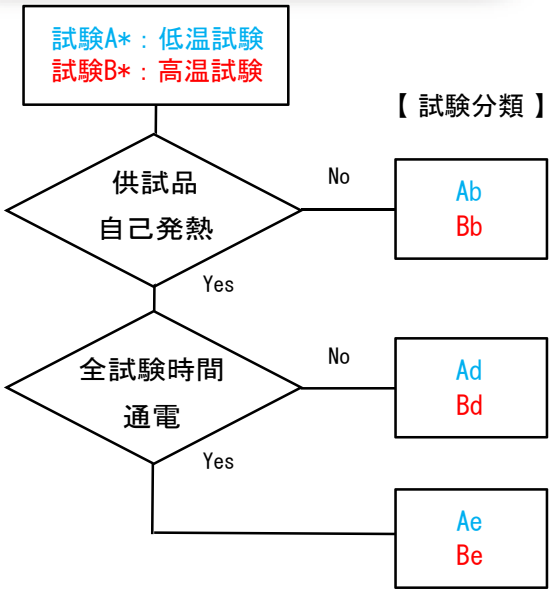
発熱供試品対応 温度試験のご案内

日本産業規格（JIS）や国際電気標準会議（IEC）の環境試験（巻末参考規格）において，
高温/低温試験は，供試品自体の発熱有無によって試験方法が細分されています。
試験を実施する前に，通電供試品が自己発熱しているかどうかを
事前に確認する必要があります。

発熱供試品の定義

低風速条件（0.2m/s未満）の環境下で，通電供試品の温度が飽和した後，
供試品表面の最高温度点と周辺環境温度との差が5℃を超える場合，
それを発熱供試品と定義します。

供試品発熱/非発熱による試験分類



アイピーエスの発熱/非発熱供試品温度試験対応

通常の恒温槽では実現が難しい，安定した低風速と恒温環境をご提供します。
供試品の最高温度点（発熱部分）を視覚的に特定し，実測します。
試験分類に応じて，適切な風速恒温環境と通電条件を適用して試験を実施します。

参考規格

IEC 60068-1:2013 ， IEC 60068-2-1:2007 ， IEC 60068-2-2:2007
IEC 60068-3-1:2011 ， IEC 60068-3-7:2020
JIS C 60068-1:2016 ， JIS C 60068-2-1:2010 ， JIS C 60068-2-2:2010
JIS C 60068-3-1:2016 ， JIS C 60068-3-7:2022

20230711

株式会社 アイピーエス　長野EMCセンター
〒399-0601 長野県上伊那郡辰野町小野 1878-1
TEL：0266-44-5200　FAX：0266-44-5300　e-mail：kankyo@ips-emc.co.jp